

指導ポイント&ヒント

第22課 「ぶんすうの ばい②」

- 【指導内容】 ①分数と分数を比べて「何倍か」を求める方法。 参考：「東書」6年上 80
- * 前課でも記述したが、分数の学習に「倍概念」の問題が入ると難しくなる（後述）ので、6年生の学習内容までほぼ終えた所で登場させた。
 - * 「倍」というのは元になる数より大きくなるイメージが強く、真分数倍のように元の数より小さいものを「2分の1倍」のように呼ぶのは難しい。無理にこの分数倍の概念を教えようとするとうる混乱をきたす子がいるので、本教材では分数の加減乗除の方法を習得した後に持ってきた。
 - * 分数と分数を比べて何倍かを求めるには、分数÷分数の計算方法（分数×「分数の逆数」にする方法）を習得していなければならないので、未習得の場合は本課の学習に先立って18課の指導をしていただきたい。

- 【日本語】 ①「～は～のN倍」→「 $\frac{5}{4}$ mは $\frac{1}{2}$ mの何倍ですか。」
- * 前課と同じ文型だが、前課を扱わずに本課に入ることも考えられるため、本課でも重要表現として挙げた。

【概念図】

1 N倍の求め方の確認をする。

- ・ 2 mは1 mの何倍かを求める場面で、求め方を想起させる。
- ・ 1 mは2 mの何倍かを求める場面で、分数で表示する方法を想起させる。
- ・ 前課の学習をしたあと、間を置かずにこの課の学習をする場合は1を省略する。その方が、「行きつ戻りつ」の学習にならず、混乱しない。

2 分数と分数を比べて何倍かを求める場面を知る。

- ・ 分数と分数を比べさせ、整数と同じように割り算によって何倍かを求めることを教える。
- ・ 分数÷分数の計算は、割る方の分数を逆数にして掛ければよいことを想起させる。

3 分数と分数を比べて何倍かを求める問題を解いてみる①

- ・ $\frac{1}{2}$ mは $\frac{5}{4}$ mの何倍かを求める問題を、ヒントを手がかりに解く。

4 分数と分数を比べて何倍かを求める問題を解いてみる②

- ・ 何倍かを求める計算を解く（長さの問題と重さの問題の2問）。

22 ぶんすうの ばい ②

1

N倍の求め方の確認を確認する。

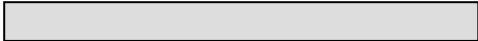
「ばい」の けいさんをおもいだしましょう。

2 mは 1 mの なんばいですか。

2 m



1 m



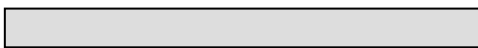
1, 2.

(しき) $2 \div 1 =$

(こたえ) 2ばい

では、1 mは 2 mの なんばいでしょうか。

1 m



2 m



1 mの ほうが
ちいさいのに…。
「なんばい」?

(しき) $1 \div 2 =$

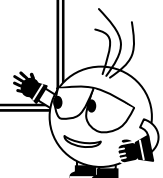
これも $1 \div 2$ のけいさんで
なんばいか わかりましたね。

(こたえ) $\frac{1}{2}$ ばい

$1 \div 2 = \frac{1}{2}$

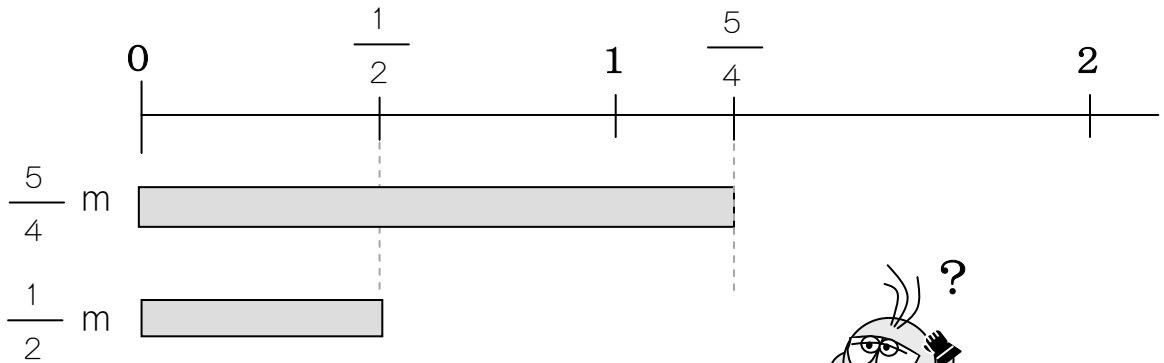
「●は ■の なんばいか」は、

● \div ■ の けいさんをするとうわかります。

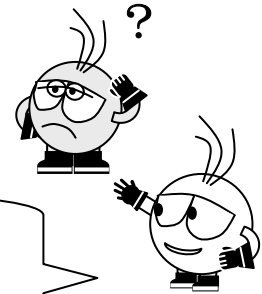


2

$\frac{5}{4}$ m は $\frac{1}{2}$ m の なんばいですか。

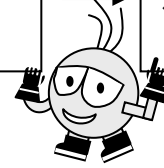
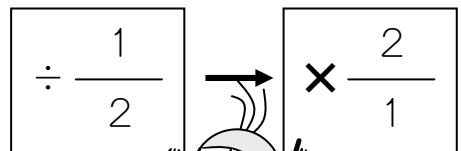


これも 「●は■のなんばいか」とおなじです。
●÷■で こたえが わかりますよ。

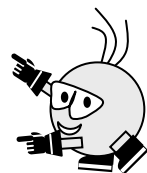


$\frac{5}{4}$ m は $\frac{1}{2}$ m の なんばいですか。

$$\frac{5}{4} \div \frac{1}{2} = \frac{5}{4} \times \frac{2}{1}$$

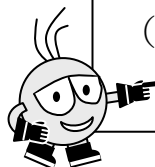


$$= \frac{5}{\cancel{4}_2} \times \frac{\cancel{2}^1}{1}$$



$2 = 2 \times 1$ やくぶん
 $4 = 2 \times 2$ できます。

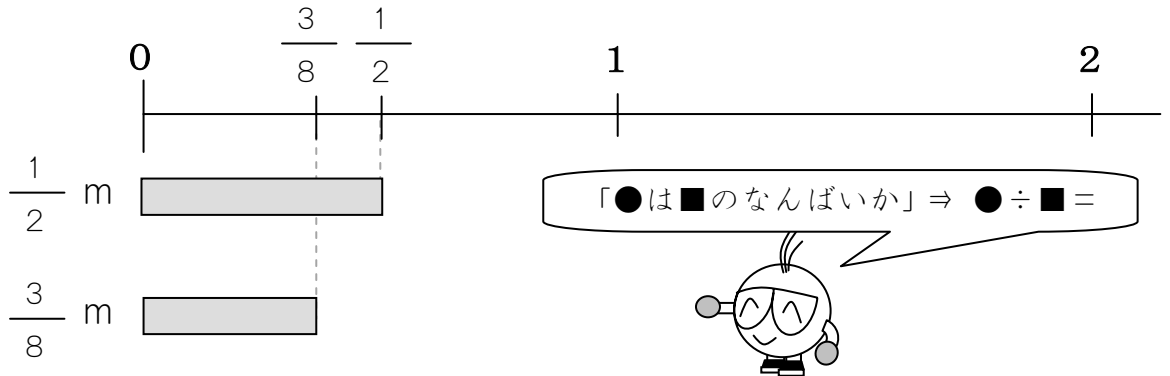
$$= \frac{5}{2}$$



(こたえ) $\frac{5}{2}$ ばい

4

$\frac{1}{2}$ m は $\frac{3}{8}$ m の なんばいですか。



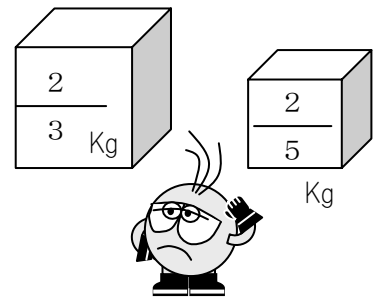
(しき) ÷

× =

(こたえ) ばい

では、おもさで なんばいかを かんがえてみましょう。

$\frac{2}{3}$ Kg は $\frac{2}{5}$ kg の なんばいですか。



÷

× =